

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 124



普門寺
高槻市

重要文化財や国の名勝
維持して次世代につなげて

柿葺きの屋根が美しい

酒造りが盛んな富田地域にある普門寺は、慈雲山と号して臨濟宗妙心寺派に属し、釈迦如来と十一面千手観音を本尊とします。明徳年間（14世紀末）に僧・説蔵が創建し、永禄年間（16世紀後半）に、室町幕府の管領細川晴元や14代將軍足利義榮が滞在し、普門寺城と呼ばれました。江戸時代初期には、中国・明の高僧、隠元が宇治に万福寺を開くまでの間、ここに留まりました。柿葺きの屋根が美しい国の重要文



国の重要文化財の方丈（本堂）

化財の方丈（本堂）は、永禄期の建築です。襖絵は狩野安信の水墨画がありますが、昭和に一時、無人の寺になったため、傷みが激しい状態です。



南北朝末期に開山された普門寺には幾多の歴史が

寺の歴史を学んで伝えよう

国の名勝の庭園は江戸時代初期の枯山水庭で沙羅双樹があり、梅雨のころには花を楽しめます。2000年12月に境内が国の名勝に追加指定。現在、富田まちづくり基本構想による公共施設の整備が進められ、寺周辺の景観への影響が懸念されます。重要文化財の維持には苦労も多く、次世代への伝承が非常に大変です。お茶と菓子をいただき、寺の歴史を聞くことができます（志納金が必要）。ぜひ、お越しください。

16th Anniversary がえいが



「パスト・ライヴズ／再会」

24年の歳月を超えた男女の関係が、12年ごとの時間の流れとともに語られます。2000年、ソウルに暮らす12歳の少女ノラと少年ヘソンは、よきライバルであり、お互い淡い恋心を抱いていましたが、ノラの一家がカナダに移住することになり、離れ離れになってしまいます。それから12年後（2012年）、24歳のノラは若き劇作家になり夢を叶えるためニューヨークに移っていました。インターネットが発達した時代、ソウルの大学で学ぶヘソンはFacebookを使ってノラを探し出し、ふたりはオンラインで語りあうようになり、学業や執筆に忙しい連絡を絶ってしまいます。そして、12年後の2024年（36歳）。アメリカ人の作家アーサーと結

初めて恋をしたふたりは、 24年後、NYで再びめぐり逢う

婚していたノラのもとに、ヘソンから突然連絡があり、24年ぶりにニューヨークで再会することに…。ノラとアーサーは複雑な思いを抱えてヘソンと会うことになりましたが、決して単なる三角関係の物語ではありません。自身も韓国から北米に移住したセリーヌ・ソン監督の実体験が反映された作品で、韓国とアメリカという異なる言語・文化の下で育ったノラが、二つの異なる価値観の間で揺れ動きながら自分の人生を決定する様を描きました。ただ、観る人によって受け取り方はそれぞれでしょう。印象に残ったのは12歳の時の別れのシーン、階段を上っていくノラと平たんな道を歩いていくヘソン、ふたりの将来を象徴するようでした。今年4月に大阪で公開。

Culture Navi かるちナビ

作りませんか



カレークリームシチュー

吹田市職労 山口 知夏さん

協力：現業評議会・給食部会



材料（4人分）

鶏肉180g、人参120g、玉ねぎ180g、じゃがいも150g、えんどう豆（またはグリーンピース）20g、マカロニ40g、牛乳240cc、カレールウ80g

作り方

- ①鶏肉、じゃがいもは一口大に切る。人参はいちょう切り、玉ねぎはくし型切りにする。
- ②鶏肉、人参、玉ねぎを油で炒める。
- ③材料に水がかぶる程度の水を入れ、沸騰したらじゃがいもを入れ野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ④野菜が柔らかくなったらかレールウ、牛乳、えんどう豆（グリーンピース）を入れ一煮立ちさせる。

心に響くひとこと

もし もう一度 行けとなら
私はまた この道を行こう

ルイ・アラゴン
(1897年～1982年 詩人)

1941年12月15日、ファシズムとたたかってきたフランスの国会議員であるガブリエル・ペリは銃殺された。彼を裏切らせるために、ドイツ軍は様々な甘い言葉をささやき、拷問を行ったが、彼は毅然として拒否した。ペリの一周忌にあたって、ルイ・アラゴンは「もしも、もう一度人生をやり直さねばならぬとしても、私は同じ道を行くだろう」と詩を詠んだ。私たちは、勇気をもって信念を貫くペリやアラゴンのような生き方ができるだろうか。

今月の 記念日

11月20日
世界こどもの日

第一次世界大戦で多くの子どもの命が奪われたことへの反省の上に立ち、1924年に国際連盟で世界初の「こどもの権利に関する公式文書」が採択され、子どもに最善のものを与えるべき義務を負う4つの原則として「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」を公式文書で明記しています。1954年に「子どもたちの世界的な友愛と相互理解の日、また世界の子どもの福祉を増進させる活動の日」として制定。1989年11月20日、すべての子どもに人権を保障する初めての国際条約「子どもの権利条約」が国連総会で採択。日本は1994年に「子どもの権利条約」を批准し、国連加盟国を上回る196の国と地域で締結され、世界で最も広く受け入れられています。